八重山日報
MA NIPPO
第15791号
令和6年(2024年)
8月9日金曜日
旧7月6日・赤口
発行所 八重山日報社
〒907-0023 沖縄県石垣市字石垣486-1
NTT西日本 八重山ビル2階
電話：(0980) 82-2403（代表）
https://www.yaeyama-nippo.co.jp

通信技術で海難事故防止へ

小浜島でデモンストレーション

（上）低消費電力広域（LPWA）通信規格の「ELTRES（エルトレス）」を活用した海の見守りサービスのデモンストレーションを行った（上右）GPSトラッカー「SEAKER（シーカー）」の端末。ライフジャケットなどにも着用できる＝8日、小浜島

一般社団法人マリンレジャー振興協会（安里繁信代表理事）は8日午前、小浜島でソニーが開発した低消費電力広域（LPWA）通信規格の「ELTRES（エルトレス）」を活用した海の見守りサービスのデモンストレーションを行った。マリンレジャー客がエルトレスを使ったGPSトラッカー「SEAKER（シーカー）」を携帯し、GPSで正確な位置情報を把握することで万が一の事故防止に備える取り組み。通信規格が波や水中でも電波遮断の影響を受けにくく、見通し100㍍の見守りサービスを可能にするという。

同機材は常時接続による位置情報が把握でき、事故に遭う以前に危険な状況を即座に検知することが可能になる。また、トラッカー側に「SOS」を発信できるボタンがあり、万が一の漂流時でも正確な位置情報を発信できるため、捜索・救助の大幅な時間短縮が期待されている。

デモンストレーションではトラッカーを導入した有限会社ぶしいぬしま（安谷屋正和代表取締役）のマリンレジャー客がつけている位置情報をモニターに映し出し、1～3分おきに送られてくるデータで客の動線や今現在どこにいるかなどを確認した。

安里代表理事は「水難・海難事故は毎年課題としてあがるテーマだが、沖縄を安全に楽しんでもらうために事業を推進していきたい。しっかりと普及に努め新事業として仕上げていきたい」と抱負を述べた。

同事業は総務省の地域デジタル基盤活用推進事業を活用しており、2分の1が補助対象。県内初の導入事例となる。デモンストレーションには総務省沖縄総合通信事務所、ソニーの関係者らが参加した。